

たぶんかきょうせいすいしんぶらん だいじぶらん
多文化共生推進プラン【第2次プラン】

ねんど たっせいじょうきょうちようさけつか
2025年度 達成状況調査結果

たぶんかきょうせいすいしんぶらん だいじぶらん すいしんたいせい もと ねんど しおま しいがい かくしゆたい ちようせん かくこうもく
 多文化共生推進プラン【第2次プラン】の「推進体制」に基づき、2025年度に市及び市以外の各主体が「挑戦すること」の各項目を
 たっせい ちようさ
 達成しているかを調査しました。

ぜんたいしゅうけい
1. 全体集計

基本目標 (とめざし)	ひとり ぼうさいたいさく てん ①一人ひとりの防災対策が100点のまちにします	もくひょうすう 目標数	30	たっせいすう 達成数	25	たっせいりつ 達成率	83.3%
	じちかいどう かつどう さんか ふ ②自治会等の活動への参加を増やします	もくひょうすう 目標数	19	たっせいすう 達成数	13	たっせいりつ 達成率	68.4%
	だれ ぐ じょうほう し ③誰もが暮らしの情報を知ることができるようにします	もくひょうすう 目標数	35	たっせいすう 達成数	29	たっせいりつ 達成率	82.9%
	こ たぶんかきょうせい おうえん ④子どもたちの「多文化共生」を応援します	もくひょうすう 目標数	31	たっせいすう 達成数	23	たっせいりつ 達成率	74.2%
	こくせき 民族 ぶんか ことば たが まな ⑤国籍・民族・文化・言葉などお互いの「ちがい」を学びます	もくひょうすう 目標数	33	たっせいすう 達成数	27	たっせいりつ 達成率	81.8%
	ごうけい 合計	もくひょうすう 目標数	148	たっせいすう 達成数	117	たっせいりつ 達成率	79.1%

ちようせん たっせいじょうきょう
2. 「挑戦すること」の達成状況

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
1	①	にほんじんしんみん がいこくじんしんみん 日本人市民・外国人市民	ちいき かんけいきかん し ぼうさいくんれん ぼうさい かん こうざ さんか 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を よ 呼びかけます。	○
2	①	にほんじんしんみん がいこくじんしんみん 日本人市民・外国人市民	ちいき かんけいきかん し おこな ぼうさいくんれん がいこくじんしんみん りかい 地域や関係機関、市が行う防災訓練を外国人市民も理解できるように つうやく きかく うんえい さぼーと 通訳や企画・運営などをサポートします。	○
3	①	にほんじんしんみん がいこくじんしんみん 日本人市民・外国人市民	こみゆにてい あつ さい ぼうさいたいさくちらし くぼ コミュニティの集まりなどの際に、「防災対策チラシ」を配ります。	○
4	①	じちかい ぐ ちいききょうぎかい 自治会（区）、地域協議会	ちいき かんけいきかん し ぼうさいくんれん ぼうさい かん こうざ さんか 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を よ 呼びかけます。	○
5	①	じちかい ぐ ちいききょうぎかい 自治会（区）、地域協議会	がいこくじんしんみん さんか ぼうさいくんれん おこな 外国人市民が参加しやすい防災訓練を行います。	○
6	①	じちかい ぐ ちいききょうぎかい 自治会（区）、地域協議会	ちいき ぼうさいくんれん とき ぼうさいたいさくちらし くぼ 地域の防災訓練の時に「防災対策チラシ」を配ります。	○
7	①	こくさいこうりゅうきょうかい 国際交流協会（K I A）	ちいき かんけいきかん し ぼうさいくんれん ぼうさい かん こうざ さんか 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を がいこくじんしんみん よ 外国人市民に呼びかけます。	○
8	①	こくさいこうりゅうきょうかい 国際交流協会（K I A）	がいこくじんしんみんたいしょう ぼうさいくんれん じっし がいこくじんしん ぼうさい 外国人市民対象の防災訓練を実施することにより、外国人市民の防災 たい いしき じょうせい ほか に対する意識の醸成を図ります。	○

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
9	①	国際交流協会（K I A）	災害時における外国人市民の支援体制について検討します。	○
10	①	国際交流協会（K I A）	主催事業参加者に「防災対策チラシ」を配ります。	○
11	①	企業	地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を従業員に呼びかけます。	
12	①	企業	自治会（区）と協力し、地域の防災訓練を行います。	
13	①	企業	従業員に「防災対策チラシ」を配ります。	○
14	①	商工会議所	地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を会員事業所に呼びかけます。	
15	①	商工会議所	外国人市民を雇用する会員事業所に対し、従業員に「防災対策チラシ」を配るよう呼びかけます。	
16	①	市	防災危機管理課と協力し、災害の時の避難場所のお知らせなどの防災情報を外国語版生活情報誌や外国人市民向けホームページにのせま	○
17	①	市	外国人集住都市会議などと連携し、災害の時に外国人市民の現状にあった支援体制をつくりま	○
18	①	市	災害時外国人支援ボランティアを育成します。	○
19	①	市	外国人市民の現状にあった災害時における支援体制をつくりま	○
20	①	市	災害時に必要な情報を多言語化またはやさしい日本語で迅速に提供できるように、非常配備態勢を見直します。	○
21	①	市	避難場所をホームページでわかりやすく伝えるようにします。	○
22	①	市	防災をテーマにした簡単な内容の講座メニューをつくりま	○
23	①	市	地域の防災訓練で、日本人市民と外国人市民が協力して取り組めるよう、外国人市民にも参加を呼びかけま	○
24	①	市	地域の防災訓練の時に、外国人市民リーダーを発掘しま	○
25	①	市	防災情報メール配信サービスの案内を含めた「防災対策チラシ」を外国人市民の意見も取り入れて多言語で作成しま	○
26	①	市	「防災対策チラシ」を外国人市民向けホームページからダウンロードできるようにしま	○
27	①	市	「防災対策チラシ」を市内各公共施設に配りま	○
28	①	市	転入手続きの時に「防災対策チラシ」を配りま	○
29	①	市	保育園・幼稚園で「防災対策チラシ」を配りま	○
30	①	市	学校で防災に関する情報を伝えま	○
31	②	日本人市民・外国人市民	自治会等の行事への参加を呼びかけま	○
32	②	日本人市民・外国人市民	自治会等の行事を行う時に、外国人市民にも理解できるように翻訳、通訳や企画・運営をサポートしま	○

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
33	②	日本人市民・外国人市民	コミュニティの集まりなどの時に「自治会のしおり」を配り、自治会（区）への参加を呼びかけます。	○
34	②	自治会（区）、地域協議会	行事やイベントを行う時に、企画段階から外国人市民に参加を呼びかけます。	○
35	②	自治会（区）、地域協議会	誰でも参加可能な行事やイベントを開催します。	○
36	②	自治会（区）、地域協議会	行事のお知らせを多言語ややさしい日本語、イラストなどでつくります。	○
37	②	自治会（区）、地域協議会	外国人市民や外国人のコミュニティ等と協力し、多くの外国人市民が自治会等の行事やイベントに参加できる場を作ります。	○
38	②	国際交流協会（K I A）	自治会等の行事への参加を呼びかけます。	
39	②	国際交流協会（K I A）	自治会等の行事を行う時に、外国人市民も理解できるよう通訳などをサポートします。	
40	②	企業	自治会等の行事への参加を従業員に呼びかけます。	○
41	②	企業	従業員に「自治会のしおり」を配ります。	
42	②	商工会議所	会員事業所に対し、自治会等の行事に参加するよう呼びかけます。	
43	②	商工会議所	会員事業所に対し、従業員に「自治会のしおり」を配るよう呼びかけます。	
44	②	市	自治会の役割と加入について、外国人市民にもわかりやすく説明した「自治会のしおり」を多言語で作成します。	○
45	②	市	外国人市民の自治会（区）に対する理解や加入を促進するため、「自治会のしおり」（多言語版）を各区に配ります。	○
46	②	市	「自治会のしおり」を外国人市民向けホームページからダウンロードできるようにします。	○
47	②	市	保健連絡員が企画する地区行事（地区健康展など）について、やさしい日本語でチラシを作成するなど、外国人市民が参加しやすい環境づくりをサポートします。	
48	②	市	転入手続きの時に「自治会のしおり」を配ります。	○
49	②	市	多言語で作成した入居説明会の資料を活用し、入居説明会の時に自治会（区）の役割と加入について説明します。	○
50	③	日本人市民・外国人市民	地域のゴミ掃除、ゴミ集積場清掃などへの参加を呼びかけます。	○
51	③	日本人市民・外国人市民	外国人市民が、生活に必要な情報やルール、どのように情報を収集するかなどを学ぶ機会を作ります。	○
52	③	日本人市民・外国人市民	コミュニティの集まりなどの時に、市がつくった外国人市民向けホームページの案内チラシを配ります。	○

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
53	③	自治会（区）	ごみ集積場に、市がつくったごみ分別の説明版を掲示します。（多言語ややさしい日本語、イラストなどで説明したもの）	○
54	③	自治会（区）、地域協議会	地域の外国人市民が、生活に必要な情報やルール、どのように情報を収集するかなどを学ぶ機会を作ります。	○
55	③	自治会（区）、地域協議会	外国人市民に、外国人市民向けホームページの案内チラシを配ります。	
56	③	国際交流協会（K I A）	外国人市民を対象に「資源・ごみの分け方と出し方」についての講座を開催します。	○
57	③	国際交流協会（K I A）	日本語を学びたい外国人市民の意見も聞きながら、日本語教室を拡充させます。	○
58	③	企業	外国人市民の働く職場のごみ箱などに、やさしい日本語や多言語、イラスト等でごみの分別方法などを掲示します。	○
59	③	企業	従業員に外国人市民向けホームページの案内チラシやごみ出しルールに関する情報（ごみ政策課の2項目目を参照）を知らせます。	
60	③	企業	通訳の雇用を始め、電話通訳や自動翻訳機などを必要に応じて活用し、従業員に多言語で対応します。	○
61	③	企業	日本語を学びたい従業員やその家族に日本語を学べる機会を作ったり、従業員やその家族が学んでいる日本語教室を支援したりします。	
62	③	商工会議所	こまき産業フェスタなどの会場案内やごみ箱を設置する時などに、やさしい日本語や多言語、イラスト等を使います。	
63	③	商工会議所	外国人市民を雇用する会員事業所に対し、従業員に外国人市民向けホームページの案内チラシやごみ出しルールに関する情報を知らせるよう呼びかけます。	
64	③	市	ホームページや各種案内文書・看板にルビをふるなど、やさしい日本語化や多言語化を進めます。	○
65	③	市	外国人市民の利用が多い手続きについては、利用方法や申請書類の説明・記入例の、やさしい日本語化や多言語化を進めます。	○
66	③	市	やさしい日本語や多言語、イラスト等を使い、外国人市民にもわかりやすい施設内の案内表示を行います。	○
67	③	市	本庁舎・東庁舎の受付で外国人市民向けホームページの案内チラシを配ります。	○
68	③	市	税の使い道や仕組み、確定申告、医療制度と年金制度、国民健康保険、介護保険や子ども医療をやさしく説明した資料をつくり、外国語版生活情報誌や外国人市民向けホームページにのせます。	○

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
69	③	市	担当の行事・イベントの会場案内やごみ箱を設置する時などに、やさしい日本語や多言語、イラスト等を使います。	○
70	③	市	困ったときに相談できるよう、外国人市民に向けて法律相談等の情報をお知らせします。	○
71	③	市	ホームページ（Life Informationのページ）に外国人市民の生活に必要な情報などを掲載して外国人市民向けホームページを作り、PRチラシを作ります。	○
72	③	市	通訳の雇用を始め、自動翻訳機などを必要に応じて活用し、来庁する外国人市民に多言語で対応します。	○
73	③	市	自動翻訳機等を多くの人が活用できるようにします。	○
74	③	市	市内の日本語教室を把握し、必要な情報を提供したり、日本語を受講したい外国人市民に日本語教室を案内します。	○
75	③	市	外国人市民向けに必要な情報やルール、どのように情報を収集するかをやさしい日本語で話をする講座を開発します。	○
76	③	市	外国人市民向けホームページの案内チラシを窓口で配布するとともに各公共施設に配ります。	○
77	③	市	資源・ごみの分け方と出し方、ごみカレンダー、早見表の情報が掲載された既存の外国語版7ヶ国語、やさしい日本語版のごみ分別アプリについて、外国人市民が必要とする情報に見直します。	○
78	③	市	外国人市民向けホームページにごみ出しルールに関する情報（概要版、アプリ等）を多言語で提供し、紙媒体とあわせて外国人市民へ広くお知らせします。	○
79	③	市	ごみ集積場に掲示するための案内文を多言語で作ります。	○
80	③	市	乳幼児健診、がん検診で外国人市民向けホームページの案内チラシを配ります。	○
81	③	市	転入手続きの時に外国人市民向けホームページの案内チラシやごみ出しルールに関する情報を配ります。	○
82	③	市	市営住宅の入居説明会の時に外国人市民向けホームページの案内チラシを配ります。	○
83	③	市	市営住宅の入居説明会の時にごみ出しルールに関する情報、地域での清掃活動について説明します。	○
84	③	市	地区防災訓練の時に外国人市民向けホームページの案内チラシを配ります。	○

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
85	④	日本人市民・外国人市民	地域や関係機関、市が行う子どもが母国や外国の文化・習慣を学び「多文化共生」を知ることのできる行事の翻訳や企画・運営をサポートし、子どもの参加を呼びかけます。	○
86	④	自治会（区）、地域協議会	子どもが母語や外国の文化・習慣を学ぶことのできる行事を企画し、参加を呼びかけます。	○
87	④	自治会（区）、地域協議会	まつりやイベントで、外国人市民の子どもが参加できる場を作ります。	○
88	④	自治会（区）、地域協議会	外国人市民の保護者も理解できる、子育てが学べる事業を行います。	○
89	④	国際交流協会（K I A）	外国にルーツを持つ小学校入学直前の児童のプレスクールを充実していきます。	○
90	④	国際交流協会（K I A）	外国人児童と日本人児童が交流する中で、母国や外国の文化・習慣を学ぶことのできる場を提供します。	○
91	④	国際交流協会（K I A）	外国人市民の保護者も理解できる、子育てが学べる事業を行います。	
92	④	企業	子どもが参加できる自治会の行事への参加を従業員に呼びかけます。	
93	④	企業	子どもを母国から呼び寄せる従業員に「就学ガイド」を配ります。	
94	④	商工会議所	会員事業所に対し、子どもが参加できる自治会の行事などに参加するよう呼びかけます。	
95	④	商工会議所	会員事業所に対し、従業員が子どもを母国から呼び寄せる時に、「就学ガイド」を配るよう呼びかけます。	
96	④	小牧警察署	市内にある学校など、子どもが集まる場で、外国人市民の子どもが理解できる交通安全や非行防止の講話を行います。	○
97	④	市	「小牧市子育てサイト」を多言語で表示しPRします。	○
98	④	市	「小牧市子育てサイト」との相互リンクを外国人市民向けホームページに追加します。	
99	④	市	乳幼児健診、赤ちゃん訪問で「小牧市子育てサイト」のPRチラシを配ります。	○
100	④	市	乳幼児相談で必要な時には、母国の育児方法、離乳食、食生活習慣などを尊重しながら対応します。	○
101	④	市	転入手続きの時に「小牧市子育てサイト」のPRチラシや「就学ガイド」を配ります。	○
102	④	市	「小牧市子育てサイト」のPRチラシをやさしい日本語や多言語で作成し、外国人市民向けホームページに掲載します。	○
103	④	市	児童館で子どもや子育て期の親が、母国や外国の文化・習慣を学び「多文化共生」を知ることのできる活動を行います。	○

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
104	④	市	学校等で開催する行事において、日本人市民と外国人市民が参加する機会を提供します。	○
105	④	市	国際交流協会(KIA)がプレスクールの充実に協力します。	○
106	④	市	市営住宅の入居説明会の時に「小牧市子育てサイト」のPRチラシを配り、内容を説明します。	○
107	④	市	外国人児童生徒連絡協議会と協力し、外国人市民の子どもの教育の環境をよりよくします。	○
108	④	市	日本人市民と外国人市民の子どもが文化・習慣を学ぶ取り組みを行います。	○
109	④	市	にじっこ教室(日本語初期指導教室)や語学相談員等を充実させ、子どもたちの日本語能力の向上に努めます。	○
110	④	市	日本の学校制度などがわかる「就学ガイド」を外国人市民向けホームページからダウンロードできるようにします。	○
111	④	市	「就学ガイド」を公共施設で配り、就学を勧めます。	○
112	④	市	外国人市民の子どもの就学実態を把握し、不就学者へ就学を勧めます。	○
113	④	市	NPO組織等と連携し、外国人市民の子どもに対する学習支援の取り組みを支援します。	○
114	④	市	外国人市民の親や子どもに読み聞かせができるような絵本を収集し、母語や母文化などに子どもが親しめるようにします。	○
115	④	市	ブックスタート事業において、配布用リーフレットを多言語で対応すると共に、配布絵本のあらすじを多言語で作成し、外国人の「読み聞かせ」の普及を図ります。	○
116	⑤	日本人市民・外国人市民	地域や関係機関、市が外国の文化・習慣を学び、多文化共生の大切さを知ることで行える行事を行う時に、外国人市民にも理解できるように翻訳、通訳や企画・運営をサポートします。	○
117	⑤	日本人市民・外国人市民	日本語の不慣れな外国人市民とのコミュニケーションに、やさしい日本語や多言語を使います。	○
118	⑤	自治会(区)、地域協議会	日本人市民が外国の文化・習慣・制度を学び、多文化共生の大切さを知ることで行える機会を作ります。	○
119	⑤	国際交流協会(KIA)	市民まつりで、外国人市民の出身国の食を紹介し、食を通して学ぶ機会を作ります。	○
120	⑤	国際交流協会(KIA)	外国や母国、日本の文化・習慣・制度を学び、多文化共生の大切さを知ることで行える行事の充実に協力します。	○

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
121	⑤	国際交流協会（K I A）	外国や母国、日本の文化・習慣・制度を学び、多文化共生の大切さを 知ることのできる行事に、中高生などの若い世代や外国人の学生も参 加できるよう工夫します。	
122	⑤	国際交流協会（K I A）	地域が主体となった、外国の文化・習慣を学び、多文化共生の大切さ を知ることのできる行事を行う時に、外国人市民にも理解できるよう 通訳や企画・運営などをサポートします。	
123	⑤	国際交流協会（K I A）	通訳ボランティアを増やします。	○
124	⑤	大学	外国や母国、日本の文化・習慣・制度を学び、多文化共生の大切さを 知ることのできる行事に、中高生などの若い世代や外国人の学生も参 加できるよう工夫します。	○
125	⑤	企業	社内報に外国人社員の出身国紹介コーナーをつくるなど、社員同士の 理解促進を図ります。	○
126	⑤	商工会議所	地域や関係機関、市などが主催する「外国人の文化習慣を学ぶことが できる場づくり」をサポートします。	
127	⑤	小牧警察署	外国人市民が働く企業などにおいて、多文化共生の大切さを理解でき る防犯や交通安全の講話を行います。	○
128	⑤	市	小牧市まちづくり推進計画を外国語版生活情報誌にのせるなど、市の 取り組みを紹介しします。	○
129	⑤	市	「市民の声」（市に対する意見・要望など）をやさしい日本語などで 対応します。	○
130	⑤	市	職員研修のプログラムのなかに「多文化共生研修」を取り入れて、職 員の意識を高めます。	○
131	⑤	市	職員研修として行う「多文化共生研修」の中で、やさしい日本語につい て学びます。	○
132	⑤	市	プランとプラン（ダイジェスト版）を情報公開コーナーに設置します。	○
133	⑤	市	多文化共生の大切さを理解した防犯や交通安全に関する出前講座を 行います。	○
134	⑤	市	多文化共生の内容を特集し、外国語版生活情報誌にのせます。	
135	⑤	市	外国語版生活情報誌に、プラン実行に関する取り組みを紹介しします。	
136	⑤	市	外国人市民の声を市政に取り入れることができる仕組みを検討しま す。	○
137	⑤	市	庁内の各課において多言語で作成した翻訳資料を整理し、庁内で翻訳 資料が共有できるような仕組みをつくりまします。あわせて、やさしい日 本語や多言語での資料づくりをサポートします。	○

No.	基本目標	主体	挑戦すること	達成
138	⑤	市	プラン実行に関係するパンフレットなどを積極的にホームページにのせて、多文化共生に関する情報を充実させます。	○
139	⑤	市	多文化共生に関するセミナーを開催します。	○
140	⑤	市	外国人市民の審議会や協議会への参加を呼びかけます。	
141	⑤	市	プランやプラン（ダイジェスト版）を広く活用できるように、窓口及び各公共施設に配布するとともにホームページからダウンロードできるようにします。	○
142	⑤	市	あいち医療通訳推進システムを医師会等にPRします。	○
143	⑤	市	母国の習慣を尊重しながら、日本における健康的な生活習慣や食習慣を紹介する場をつくります。	○
144	⑤	市	転入手続きの時に「プラン（ダイジェスト版）」を配ります。	○
145	⑤	市	小中学校・幼稚園・保育園の職員などを対象にした「多文化共生」を学ぶことができる場をつくります。	○
146	⑤	市	市営住宅の入居説明会の時に「プラン（ダイジェスト版）」を配ります。	○
147	⑤	市	診療申込書、入院案内、入院申込書など患者さんに必要な各種様式を多言語で用意します。	○
148	⑤	市	多言語の患者さんに対応するため、医療通訳サービスを導入・活用します。	○